I-O DATA

テレビ接続ガイド
パソコン接続ガイド

外付ハードディスク
HDCZ-AUT シリーズ



● 本製品には保証書は添付しておりません。レシート・納品書などは大切に保存してください。修理の際には、購入日を証明するものが必要です。
詳しくは【ハードウェア保証規定】(33 ページ) をご覧ください。
● 【安全のために】、【使用上のご注意】を必ずご確認ください。(28 ～ 30 ページ)

MANU000323

もくじ

はじめに 3
添付品を確認する 3

テレビ / レコーダーで使う 4
テレビ / レコーダーにつなぐ 5
つないだ機器に登録する 6

パソコンで使う 18
Windows で使う場合 18
フォーマットが必要な場合 21
よくあるご質問 24

仕様 25
動作環境 25
各部の名称・機能 26
ハードウェア仕様 27

お守りください 28
安全のために 28
使用上のご注意 30

アフターサービス 31
お問い合わせについて 31
修理について 32
ハードウェア保証規定 33

はじめに

【重要】データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。
突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復･復元･複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

●バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD･BD･DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

【重要】設置上のご注意

本製品は本体表面から放熱する設計となっていますので、周囲の物や壁際から 5cm 以上離して設置してください。また、本製品や他の電気製品と重ねて設置しないでください。本製品を縦置きでご使用になる場合は、水平な面に設置し、倒さないように十分にご注意ください。

添付品を確認する

□ AC アダプター（1 個）
□ USB 3.1 Gen1（USB 3.0）ケーブル A-Micro B　約 1m（1 本）
☑ テレビ接続ガイド / パソコン接続ガイド（本書）

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

テレビ / レコーダーで使う

本製品をはじめてつなぐ際は、テレビ / レコーダーに本製品を登録する必要があります。
※対応機器は、【動作環境】（25 ページ）でご確認ください。

重要なお知らせ

●登録 / 録画した番組について
・登録は、はじめてつなぐ時のみです。次回からは必要ありません。
・本製品をテレビ / レコーダーに登録すると、本製品内のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、事前に他のメディア（HDD や DVD など）にバックアップしてください。
・録画した番組が保存されている本製品を、他の機器につないで番組の再生はできません。他の機器に登録すると、すでに保存されている番組データはすべて消去されます。
・パソコンとテレビ / レコーダーで本製品を併用することはできません。
（テレビ / レコーダーで登録すると、そのテレビ / レコーダー専用のフォーマットになります。）
・故障などの理由でテレビ / レコーダーや本製品を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

●使用について
・テレビ / レコーダーを視聴していなくても、番組表の更新でテレビ / レコーダーの電源がオンになることがあります。この場合、本製品の電源もオンになります。
・本製品を取り外す場合は、テレビ / レコーダーの取り外し手順にしたがってください。録画中などに誤って本製品の取り外し、電源をオフにすると、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

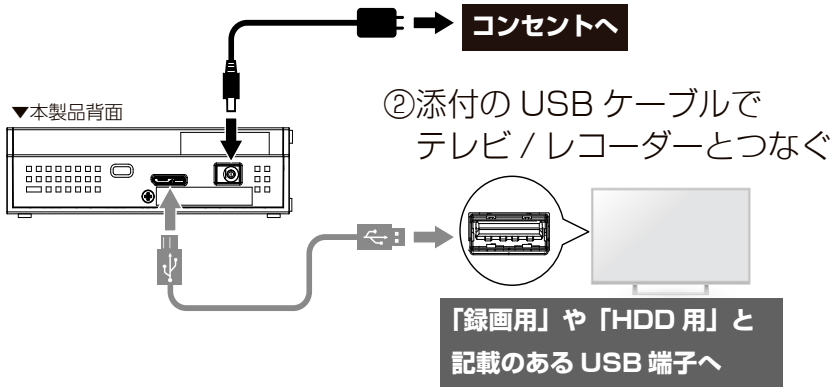
●テレビ / レコーダーの操作については、各メーカーにお問い合わせください。
（弊社ではサポートをおこなっておりません。）

テレビ / レコーダーにつなぐ

1 テレビ / レコーダーの電源を切る（OFF にする）

2 AC アダプターと USB ケーブルをつなぐ

①添付の AC アダプターをつなぐ



3 テレビ / レコーダーの電源を入れる（ON にする）

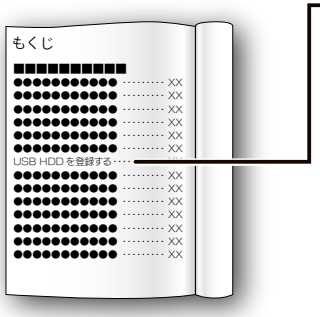
電源連動機能について
本製品の電源は、テレビ / レコーダーの電源の ON/OFF と連動します。
AC アダプターを接続しただけでは本製品の電源は ON になりません。
本製品をテレビ / レコーダーにつなぎ、テレビ / レコーダーの電源を ON にすると、本製品が入ります。

このあと、接続した機器で本製品の登録が必要です。（初回のみ）
詳しい方法については、テレビ / レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

つないだ機器に登録する

本製品をつないだ機器のリモコンを操作して、本製品を登録します。
本製品をつないだテレビ / レコーダーの取扱説明書を準備してください。

1



もくじを開き、USB HDD 登録関連のページを探す
※項目例を参考にしてください。

項目例
- USB ハードディスクを本機に登録する
- USB ハードディスクを初めてつなぐ
- USB ハードディスクを初期化する

2 上記操作方法のページを開き、手順を確認する
テレビ / レコーダーの取扱説明書の手順にしたがって、登録します。

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビ / レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

【参考】以下の機種については、本書で登録方法を説明しています
※非対応の機種もあります。【動作環境】（25 ページ）をご確認ください。
※本書の手順は一例です。モデルにより異なる場合がありますので、
必ずテレビ / レコーダーの取扱説明書をご確認ください。
【ディーガ　DMR-BRW1050】（7 ページ）
【レグザ　M520X シリーズ】（8 ページ）
【ビエラ　GZ1800 シリーズ】（10 ページ）
【アクオス　BJ1 ライン】（12 ページ）
【ブラビア　X7500F シリーズ】（13 ページ）
【REAL　RA1000 シリーズ】（15 ページ）
【LG　SK8500P(Web OS 搭載機種)】（17 ページ）

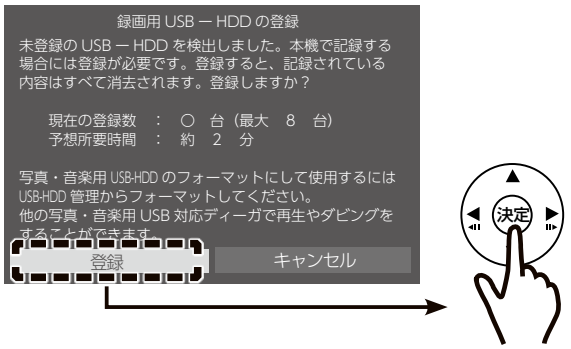
ディーガ　DMR-BRW1050

1 ディーガの電源をオンにする

2「USB-HDD の設置について」を確認し、決定 を押す

「USB-HDD の設置について」の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください
①リモコンの［ホーム］ボタンを押す
②［初期設定 / リモコン設定］を選び、決定 を押す
③［HDD/ ディスク /USB-HDD 設定］を選び、決定 を押す
④［USB-HDD 設定］を選び、決定 を押す
⑤［USB-HDD の登録］を選び、決定 を押す

3



［ 登録 ］を選び、
決定を押す

▼

登録がはじまります。

4 登録が終了したら、決定 を押す

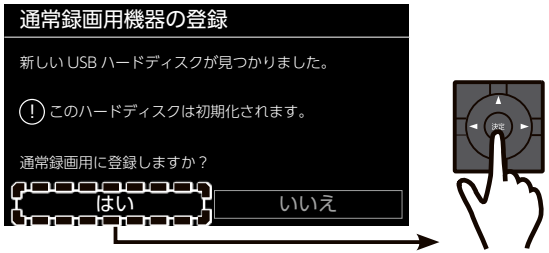
これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

レグザ　M520X シリーズ

1 レグザの電源をオンにする

2



[はい] を選び、
決定を押す

手順２の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください

①リモコンの［設定］ボタンを押す

②［録画・再生設定］を選び、決定 を押す

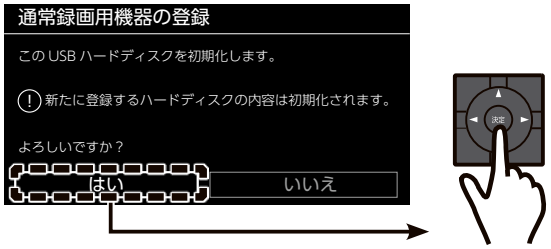
③［通常録画用 USB ハードディスク設定］を選び、決定 を押す

④［機器の登録］を選び、決定 を押す

⑤［未登録］を選び、決定 を押す

このあと、上記手順２の画面が表示されます。

3

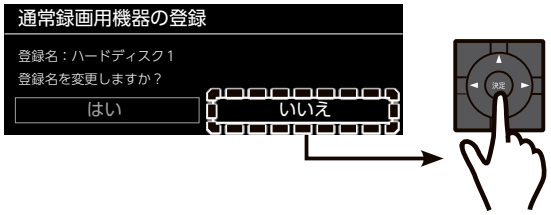


[はい] を選び、
決定を押す

▼

初期化がはじまります。

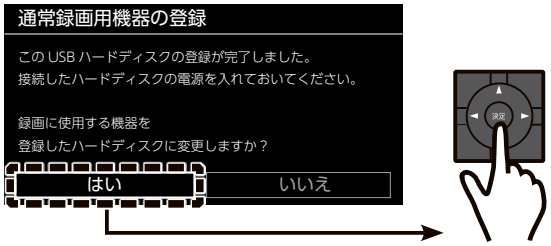
4



[いいえ] を選び、
決定を押す

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[はい] を選び、画面の指示にしたがってください。

5



[はい] を選び、
決定を押す

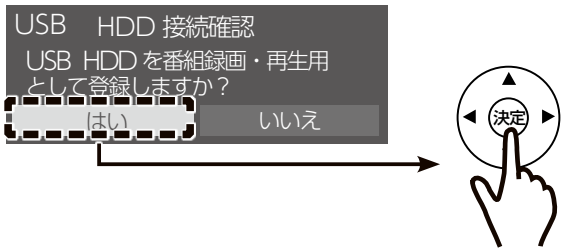
これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ビエラ　GZ1800 シリーズ

1 ビエラの電源をオンにする

2



[はい] を選び、
決定を押す

手順２の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください

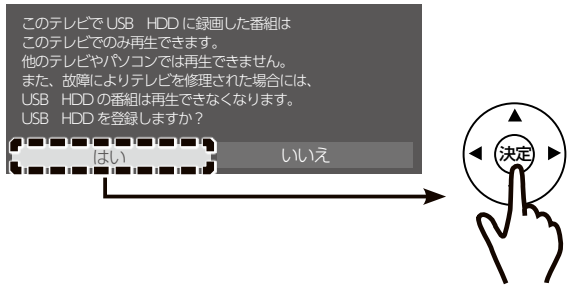
①リモコンの［メニュー］ボタンを押し、[機器設定] を選び、決定 を押す

② [USB 機器一覧] を選び、決定 を押す

③「未登録」の USB-HDD を選び、決定 を押す

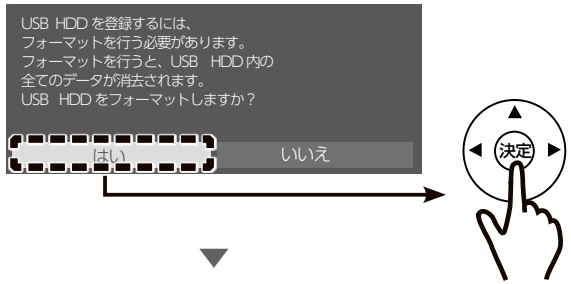
このあと、上記手順２の画面が表示されます。

3



[はい] を選び、
決定を押す

4

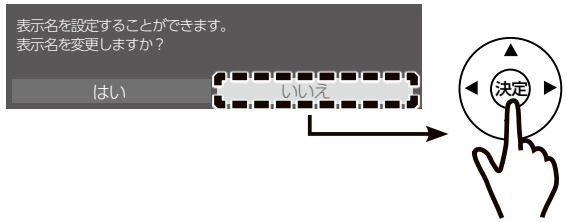


[はい] を選び、
決定を押す



初期化がはじまります。

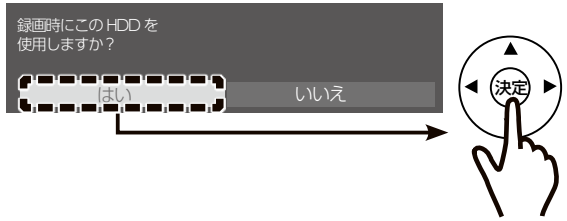
5



[いいえ] を選び、
決定を押す

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[はい] を選び、画面の指示にしたがいます。

6



[はい] を選び、
決定を押す

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

アクオス　BJ1 ライン

1 アクオスの電源をオンにする

本製品の接続時に「USB-HDD を検出」と表示された場合

［録画用の HDD として初期化する］を選び、決定 を押す

このあと、下記手順４にお進みください。

2 リモコンの ツール を押す

3 ［基本設定］→［録画機器設定］→［初期化］を選び、決定を押す

4 「初期化しますか？」の画面で、［はい］を選び、決定を押す

5 「再確認」の画面で、［はい］を選び、決定を押す

▼

「初期化中」と表示され、初期化がはじまります。

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビア　X7500F シリーズ

1 ブラビアの電源をオンにする

「正しく接続されていない可能性があります」と表示されたら

一度他の AV 機器で使用したなどの理由により、本製品の出荷時フォーマット形式である NTFS から変更された可能性があります。
お使いのテレビには外付 HDD をフォーマットする機能が無いため、Windows パソコンを利用し、本製品を NTFS 形式にフォーマットしてからお試しください。
フォーマット方法は、【フォーマットする場合】（22 ページ）をご覧ください。

2 リモコンの ホーム ボタンを押す

3 [設定] を選び、決定 を押す

4 [録画機器設定] を選び、決定 を押す

5 [録画用に登録] を選び、決定 を押す

6 [登録すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されます] と表示されたら、[はい] を選び、決定 を押す

7 [この HDD の内容はすべて削除されますが、本当によろしいですか？] と表示されたら、[はい] を選び、決定 を押す

▼

初期化がはじまります。

8 [ハードディスクを登録しました] を表示されたら、[OK] を選び、決定 を押す

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

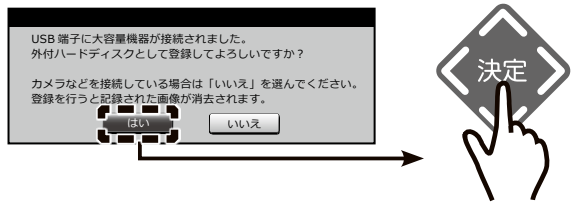
REAL　RA1000 シリーズ

1 REAL の電源をオンにする

手順 2 の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください
リモコンの［メニュー］ボタンを押し、
［設定］→［機能設定］→［外付ハードディスク設定］→［外付ハードディスク一覧］を選び［決定］を押す

このあと、手順3の画面が表示されます。

2



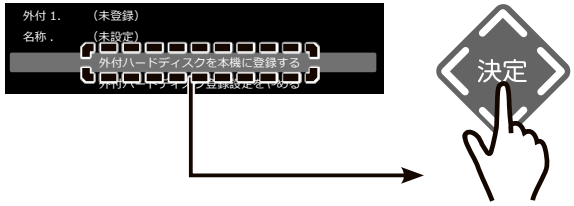
［はい］を選び、
［決定］を押す

3



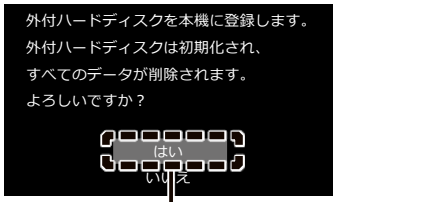
［(未登録)］を選び、
［決定］を押す

4



［外付ハードディスクを本機に登録する］を選び、
［決定］を押す

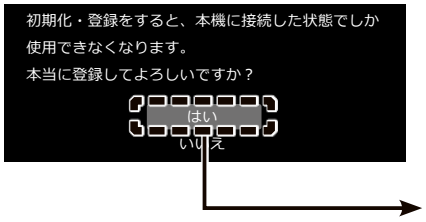
5





［はい］を選び、
［決定］を押す

6



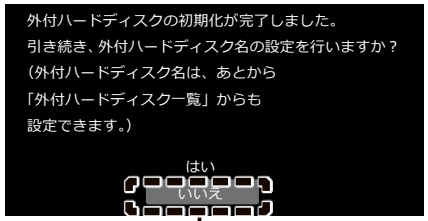


［はい］を選び、
［決定］を押す

▼

初期化がはじまります。

7





［いいえ］を選び、
［決定］を押す

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

LG　SK8500P(Web OS 搭載機種)

テレビにつなぐとすぐに利用できます。
（登録や初期化設定などはありません。）

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

「接続に失敗した」などと表示され、使用できない場合

一度他の AV 機器で使用したなどの理由により、本製品の出荷時フォーマット形式である NTFS から変更された可能性があります。
その場合は以下のいずれかの方法でフォーマットをおこなってください。

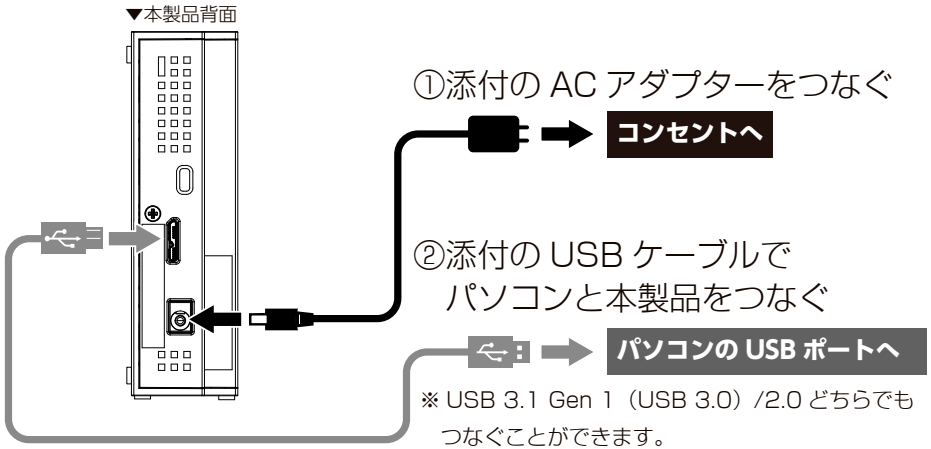
●テレビでフォーマットする場合
①リモコンの［入力切替］を押す
②表示されたメニューから、［すべての入力］を選ぶ
③「アクティブな入力」にある本製品を選ぶ
④［フォーマット］を選ぶ
⑤ドライブを選ぶ
⑥［フォーマット］を選ぶ
フォーマットが実行されます。

● Windows パソコンに接続してフォーマットする場合
【フォーマットする場合】（22 ページ）をご覧になり、本製品を NTFS 形式でフォーマットしてください。

パソコンで使う

Windows で使う場合

つなぐ



確認する

HDD アイコンが追加されていれば本製品を使用できます。



本製品のアイコンが分からない場合
いったん【取り外す場合】（19 ページ）を実行し、消えたアイコンが本製品のアイコンです。

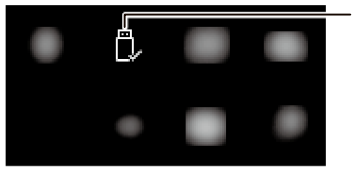
本製品のアイコンが表示されない場合
【よくあるご質問】（24 ページ）をご覧ください。

取り外す場合

パソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

1 

（ ）をクリック
※アイコンが無い場合は、手順2へ

2 
（ ）をクリック

3 メッセージを確認し、画面の指示にしたがう

4 本製品を取り外す

ご注意
ケーブル部分を引っ張らず、コネクターを持って抜いてください。

アプリのご案内

本製品では、以下のアプリを利用できます。

Sync with	フォルダー間を定期的に同期します。 簡単なバックアップも可能です。
DiskRefresher 3 SE	フォーマットするだけでは消えないデータを復旧できないように完全抹消します。 本製品を譲渡・廃棄する際に必要です。
診断ミレル	HDD の状態を診断します。故障によるデータ消失を未然に防ぐことができます。詳細は弊社 Web ページをご覧ください。 ※ 電子部品の不良など突然起こる故障を予測することを保証するものではありません。また、故障時期を 100% 予測することを保証するものではありません。予めご了承ください。

※インストールしなくても、本製品は使用できます。
※アプリの対応 OS は本製品の対応 OS と異なる場合があります。
　詳しくは、以下の各アプリの製品ページをご覧ください。

アプリのダウンロード方法

以下のアイ・オー・データ機器の Web ページにアクセスし、必要なアプリをダウンロードしてください。
https://www.iodata.jp/ssp/soft/

フォーマットが必要な場合

フォーマットとは、本製品をお使いのパソコンでデータを読み書きできる状態にする作業です。
お使いの OS により認識できるフォーマット形式が異なります。

本製品は NTFS フォーマット済みのため、通常はフォーマットする必要はありません。
ただし、以下の場合はフォーマットが必要です。

→ テレビなどの AV 機器で使用していた HDD をパソコンに接続して使用する場合

フォーマットする場合

ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットしない HDD はできるだけパソコンから取り外してください。誤って他の HDD をフォーマットしないようご注意ください。

1 I-O DATA ハードディスクフォーマッタを起動する

I-O DATA ハードディスクフォーマッタのインストール方法

①以下のサポートライブラリにアクセスする

https://www.iodata.jp/r/2107

②お使いの OS のアイコンをクリックしダウンロードする

③ダウンロードしたファイルをダブルクリックしインストールする

2



①フォーマットする HDD を選ぶ

②［次へ］をクリック

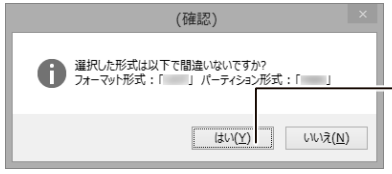
3



①フォーマット形式を選ぶ

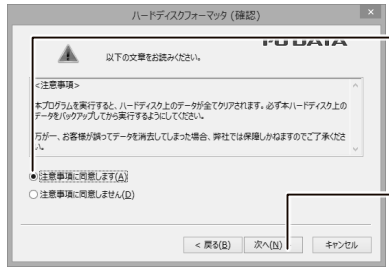
②［次へ］をクリック

4



［はい］をクリック

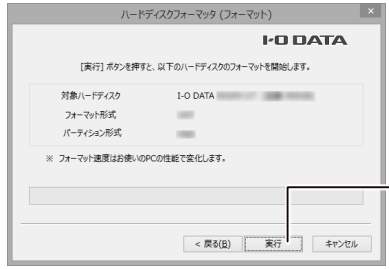
5



①内容をよく読み、選択する

②［次へ］をクリック

6



［実行］をクリック

フォーマットを開始します。
しばらくお待ちください。

7



［完了］をクリック

8 いったん本製品を取り外す

これでフォーマットは完了です。

よくあるご質問

本製品のアイコンがない (正常に認識されない)

・いったん取り外し、接続し直してご確認ください。
・接続する USB ポートを変えてご確認ください。USB ハブに接続している場合は、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

「取り外しできません」と表示された

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外してください。それでも取り外せない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された

[はい]([続行]) ボタンをクリックしてください。

パーティションの分け方や、コピー方法を知りたい

以下のパソコン基本操作ガイド（Web）をご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/mastering_manual/

仕様

動作環境

(2019 年 9 月現在)

最新の対応機種情報
以下の弊社 Web ページをご覧ください
https://www.iodata.jp/product/hdd/rokuga/hdcz-aut/spec.htm

▼テレビ・レコーダー ※1

パナソニック	ブルーレイ／ DVD レコーダー　ディーガ
東芝	ハイビジョン液晶テレビ　レグザ
パナソニック	液晶テレビ　ビエラ
シャープ	液晶テレビ　ICC PURIOS
シャープ	液晶テレビ　アクオス
ソニー※2	液晶テレビ　ブラビア
日立	液晶テレビ　Wooo
三菱	液晶テレビ　リアル
LG Electronics Japan	液晶テレビ

※一部の機種ではご利用いただけない場合があります。
※型番ごとに認識可能な容量が異なります。

※ 1 3.0TB 以上の容量に対応していないモデルがあります。詳しくは、上記【最新の対応機種情報】を参照ください。
※ 2 弊社が独自に検証したものであるため、各メーカー様へのお問い合わせはご遠慮ください。

▼パソコン

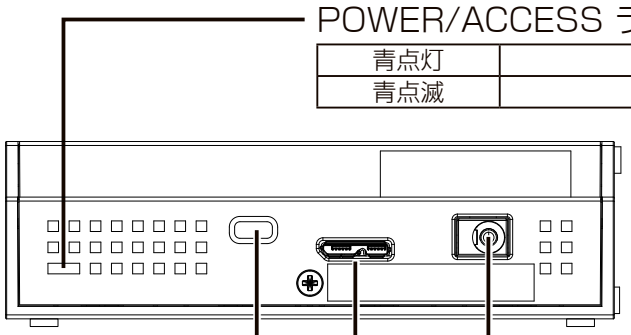
USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）/2.0 を装備したパソコン

※弊社製 USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）/2.0 インターフェイスを装備したパソコンを含む

Windows パソコン※3※4	Windows 10※5 Windows 8.1 Windows 7

※ 3 USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）の動作は、弊社製 USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）インターフェイスで確認しています。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。
※ 4 USB 3.1 Gen 1(USB 3.0)でご使用いただくには、USB ポートおよび OS(ドライバーを含む) が USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 2.0 として動作します。
※ 5 添付アプリは、Windows10(S モード) には対応していません。

各部の名称・機能



POWER/ACCESS ランプ

青点灯	電源 ON
青点滅	アクセス中

DC 端子
添付の AC アダプターを接続します。

USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）/2.0 ポート
添付の USB ケーブルを接続します。

ケンジントンセキュリティスロット
盗難対策にケンジントンロックを取り付けられます。

電源連動機能について

●接続する機器によっては、電源連動でオフにならない場合があります。

●パソコンの電源ランプが消灯しても、本製品の動作音が数回する場合があります。
これは本製品の正常な動作ですのでそのままお使いください。

ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.1 Gen 1（USB 3.0）、USB 2.0
出荷時フォーマット	NTFS
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	8.2W(typ)
使用温度範囲	5 ～ 35℃（接続機器の動作範囲であること）
使用湿度範囲	20 ～ 80%（結露なきこと、接続機器の動作範囲であること）
外形寸法	約 34（W）× 172（D）× 115（H）mm（突起部を含まず）

※詳しい内容は、弊社 Web ページをご覧ください。（商品型番等で検索してください。）

https://www.iodata.jp/product/hdd/rokuga/hdcz-aut/spec.htm

パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後に OS に表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

●本製品の容量
1GB = 1,000MB、1MB = 1,000,000B で計算

● OS 上で表示される容量
1GB =1,024MB、1MB=1,048,576B で計算
例）1 TB のハードディスクの場合
仕様容量：約 1 TB
OS 上の表示：約 931GB

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

⃠	禁止	❗	指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・改造・分解しない

⃠ 火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

⃠ 感電の原因となります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

⃠ 水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

決められた電源で使用する

❗ 所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

❗ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない

⃠ 本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

⃠ 火災の原因となります。

⚠ 警告 ●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターは、添付品または指定品のもの以外を使用しない

⃠ AC アダプターから発煙したり火災の原因になります。

添付の AC アダプターは、他の機器に接続しない

⃠ 添付の AC アダプターは、本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない

⃠ 発熱、火災の恐れがあります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

❗ そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などしない

⃠ 火災、感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない

⃠ 火災の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない

⃠ 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない

⃠ 電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

⃠ 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

❗ テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない

⃠ 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

⃠ 足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

●本製品を接続時、他の USB 機器を使う場合に以下にご注意ください。
・本製品の転送速度が遅くなることがあります。
・本製品を USB ハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンの USB ポートに直接、接続してください。

●起動用ドライブとしてはご使用いただけません。

●本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS 起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。

●ご利用のパソコンにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

●本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

●譲渡・廃棄の際のご注意
・データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。弊社製「DiskRefresher3 SE」をダウンロードしてご利用いただけます。（20 ページ参照）
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

アフターサービス

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶https://www.iodata.jp/support/

① 「Q&A よくあるご質問」を参照

② 最新のソフトウェアをダウンロード

2 それでも解決できない場合は、
サポートセンターへ

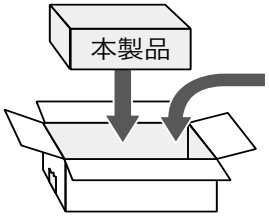
電話 **▶050-3116-3015**
受付時間 9：00～17：00 月～日曜日
（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

メール **▶https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm**

修理について

保証期間 **1** 年間

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書など
購入日を示すもの
または保証書

＋

メモ
・名前 ・住所
・ TEL / FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。
　弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

▶ https://www.iodata.jp/support/after/

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **1** 年間無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1） 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2） 中古品でご購入された場合
3） 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4） お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5） 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6） 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7） 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8） 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9） 弊社が寿命に達したと判断した場合
10）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1） 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2） 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3） 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4） 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1） 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2） 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3） 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。　Our company provides the service under this warranty only in Japan.

MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

2019.9.26
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

https://www.iodata.jp/